

古典教育の重視

最後に古典教育の重視といふことに触れたいと思ひます。古典は幼児にとって少しも難しくありません。私は『十八史略』『孝経』『大学』『唐詩』等の漢文漢詩を幼児に教へてゐますが、幼児は実によく読みます。大学生よりよっぽどいい。考へてみるに、昔はさういふ教育が行はれてゐたのだらうと思ひます。私は、昔の方法を調べてこれを真似てゐる面が多い。ただ、昔のやうには厳しくしないで、褒めることを多くして子供を喜ばせ、楽しませるやうにしてゐます。これはドーマン博士の障害者の訓練もさうでして「だめだ。もっと頑張らなくては」と叱咤激励するよりは、「よくやった、偉い」と言つて褒めてやり、やる気を起させるのが良いのです。福永騎手の場合がその好い例です。

かうして幼児は私たちが信じられないやうなことをやすやすと実行することが出来るのです。

(註)・「月曜評論」第802号(6月9日発行)に、「脳障害者治療に効果的な漢字教育」を掲載した。その冒頭に、落馬して脳を強打し、植物人間の状態になった福永洋一氏のこと、又、その治療を指導してゐる、脳障害の治療では世界一と言はれるアメリカのグレン・ドーマン博士の治療の原理について述べた。